

## 開催概要

# ガートナー エンタプライズ・アプリケーション戦略& アプリケーション・アーキテクチャ サミット 2018

会期：2018年3月15日(木)・16日(金)

会場：東京コンファレンスセンター・品川  
JR品川駅港南口(東口)徒歩約2分

主催：ガートナー ジャパン株式会社

後援：一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)

## 参加料金(1名様)

早期割引価格：99,000円(税別)  
2017年11月1日(水)～2018年2月1日(木)まで

通常価格：110,000円(税別)  
2018年2月2日(金)～2018年3月14日(水)まで

### グループ登録特典

- 4for3** 同時に4名様ご登録で、1名様分無料になります。
- 7for5** 同時に7名様ご登録で、2名様分無料になります。
- 10for7** 同時に10名様ご登録で、3名様分無料になります。

参加登録受付中



## 参加対象者

- CIO/経営層
- アプリケーション開発責任者およびご担当者  
(全社IT部門・部門内開発部門) (モバイル、クラウド、Web)
- アプリケーション基盤(実行環境・連携環境)責任者およびご担当者(モバイル、クラウド、Web)
- ビジネス・アプリケーション/SaaS導入責任者およびご担当者
- 経営企画/事業企画部門の責任者およびご担当者

©2018 Gartner, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved. Gartner is a registered trademark of Gartner, Inc. or its affiliates.  
For more information, email [info@gartner.com](mailto:info@gartner.com) or visit [gartner.com](http://gartner.com).

# ガートナー エンタプライズ・ アプリケーション戦略& アプリケーション・ アーキテクチャ サミット 2018

2018年3月15日(木)・16日(金)  
東京コンファレンスセンター・品川  
[gartner.co.jp/event/aa/](http://gartner.co.jp/event/aa/)



コンファレンス・チェア  
片山 治利

## お申し込み方法

[gartner.co.jp/event/aa/](http://gartner.co.jp/event/aa/)  
からお申込みください。若しくは、  
貴社担当営業へお申し付けください。

- ・お申込み確認後、登録事務局より請求書を  
発送いたします。
- ・お支払い方法、キャンセル規定の詳細は、  
Webサイトにてご確認ください。

## 参加特典

ガートナー・アナリストとの  
One-on-Oneミーティング  
(事前登録制)



## お問い合わせ先

ガートナー ジャパン株式会社  
サミット登録事務局

受付時間:10:00～12:00 / 13:00～17:00  
(土・日・祝日を除く)

Tel : 03-6430-1810  
Fax : 03-6430-1927  
Email : [japan.events@gartner.com](mailto:japan.events@gartner.com)

デジタル・トランスフォーメーション  
実現の鍵としてのアプリケーション戦略



2018年2月版



# デジタル・トランスフォーメーション実現の鍵としてのアプリケーション戦略

Evolve your application strategy to drive digital transformation


日本企業のデジタル・トランスフォーメーション(デジタル・ビジネス推進のための変革)への取り組みの本気度が増しつつある。テクノロジーによって新しいビジネスモデルを生み出す取り組み、既存のビジネス・オペレーションの効率を劇的に向上させる取り組みが広がっている。


ガートナーでは、デジタル・トランスフォーメーションを実現するためには、顧客、モノ、エコシステム、データ、社内システムのつながりから成るデジタル・プラットフォームの構築を推奨している。ここで、エンタプライズ・アプリケーションは単に社内システム範囲にとどまらず、他の構成要素とのつながりの部分までを含有するものであり、エンタプライズ・アプリケーションの変革がデジタル・トランスフォーメーション実現の鍵となる。


では、どう変わるのか。その道筋を示すのがアプリケーション戦略であり、その戦略を具現化したものがアプリケーション・アーキテクチャである。そしてその変革にはスピードが求められる。新しい戦略やアーキテクチャの策定、実践には、時間をかけすぎたはいけない。新しいテクノロジーや人材育成を駆使して、ビジネスニーズに機敏に対応できる仕組みを構築する。


本サミットでは、「アプリケーション戦略」と「アプリケーション・アーキテクチャ」を柱に据えて、企業のエンタプライズ・アプリケーションにかかわるすべての人々が、デジタル・トランスフォーメーション実現のために何をなすべきか、有益なヒントを得られるよう、ガートナーの国内外のトップ・アナリストが、最新の調査結果や事例を基に知見を提供する。

## トピックス

 ビジネス戦略を推進する、エンタプライズ・アプリケーション戦略

 アプリケーション戦略を具現化するアプリケーション・アーキテクチャ

 エンタプライズ・アプリケーションに俊敏性、柔軟性を持たせるポストモダンERP戦略

 デジタル・プラットフォームを支える人材育成、ワークスタイル変革、データ活用

## フォーカス・エリア

- ・アプリケーション戦略(デジタル・プラットフォーム、ビジネス・エコシステム、働き方改革)
- ・アプリケーション開発(RADツール、AI、クラウド)
- ・アプリケーション基盤(アプリケーション・プラットフォーム & 統合、aPaaS/iPaaS、API management)
- ・アプリケーション・アーキテクチャ(ハイブリッド、Web、モバイル、SOA、SDA、マイクロサービス、ブロックチェーン、データ)
- ・ビジネス・アプリケーション(ポストモダンERP)




デニス・ゴーハン  
バイス プレジデント



イェフィム・ナティス  
バイス プレジデント 兼 ガートナーフェロー

## ガートナー基調講演

 日英同時通訳付



デニス・ゴーハン  
バイス プレジデント

### GK1. オープニング基調講演

#### デジタル・プラットフォームを構築してビジネス・エコシステムに投資せよ

デジタル・ビジネスの時代において、ビジネス・エコシステムの統合は、基本的な業務運営としてのみならず、競争優位を獲得する上でも不可欠になっている。

本セッションでは、ビジネス・エコシステムの重要性、先進的な組織によるエコシステムの設計手法、そしてデジタル・ビジネス・プラットフォームを構築してエコシステムを統合する上で生まれるビジネス/テクノロジー上の機会と課題について解説する。



コンファレンス・チェア  
片山 治利  
リサーチ ディレクター

### GK2. クロージング基調講演

#### アプリケーション・リーダーはデジタル・トランスフォーメーション推進の舵を握れ

日本でも多くの企業が、(好むと好まないにかかわらず)ビジネスのデジタル化の海に漕ぎ出している。ガートナーが提唱する「デジタル・プラットフォーム」はデジタル化の海の航海における「海図」にあたる。

「デジタル・プラットフォーム」を構成する顧客、モノ、エコシステム、社内システム、情報のつながりを実現すべく航海を進める必要がある。それは自らのデジタル・トランスフォーメーションを実現することであり、その航海の舵はIT部門のアプリケーションリーダーが「ITリーダー」として自ら握る必要がある。

本サミットで提示されたアプリケーション戦略&アーキテクチャに関する情報を活用して航海を進んで頂きたい。「デジタル・トランスフォーメーション実現の鍵としてのアプリケーション戦略」をテーマにしたサミットをチェアの片山が総括する。

# ゲスト基調講演

日英同時通訳付



株式会社hapi-robo st 代表取締役社長  
ハウステンボス株式会社 取締役 CTO  
富田 直美氏

## GU1. AI、ロボット、IoTを社会に活かす。

### ～人がより幸せになるような未来を創る会社の使命とは?～

ハウステンボスは未来を見据えた様々な挑戦を行っています。「変なホテル」ではロボットの全面採用で顧客を楽しませつつ、世界最高の生産性を実現しています。

ハウステンボスにおけるロボット事業の立役者でもあり、米国企業11社の経営をしてきた富田が、豊富な経験を基にした戦略立案において大切なこと、ビジネス成功に求められる条件、また、ロボット社会実現の可能性と人と地球に優しいこれからのビジネスについて講演します。

#### 【プロフィール】

株式会社hapi-robo st 代表取締役社長、ハウステンボス株式会社 取締役 CTOとして、ハウステンボスのロボット事業の責任者。

E-Trinity(自己・自然節理・環境経済)による幸福世界の実現・持続をライフワークとし、教育、スポーツ、哲学、芸術、デザイン、メカトロニクス、ラジコンなど多岐に渡るマルチ・プロフェッショナル。外資系IT企業の日本法人社長など11社の経営に携わり、これまでに(財団法人)日本総合研究所理事、社会開発研究センター理事、アジア太平洋地域ラジコンカー協会(FEMCA)初代会長等を歴任。考える塾である“富田考力塾”を全国的に展開中。多摩大学の客員教授。



早稲田大学ビジネススクール 教授  
早稲田大学IT戦略研究所 所長  
根来 龍之氏

## GU2. デジタル・ディスラプションと既存企業の対応戦略

デジタル化の進展によって、多くの産業が産業構造の変化に直面している。この変化の本質について、「デジタル・ディスラプション」をキーワードにして考える。

より具体的には、「産業構造変化」の問題をデジタル化による「新しい価値提案」と「代替の進行速度と範囲」の観点から整理する。自動車、小売業、コンテンツ(新聞、動画、書籍等)等の産業を具体例にした議論を行う予定である。これらの産業について、まず、どのようなディスラプション(破壊的イノベーション)が進行しているかを整理し、同時に既存企業のあるべき対応戦略について考える。

#### 【プロフィール】

早稲田大学ビジネススクール教授。同ビジネススクール前研究科長。早稲田大学IT戦略研究所所長。京都大学卒業。経営情報学会会長、国際CIO学会副会長、組織学会理事、CRM協議会顧問などを歴任。経営情報学会論文賞を3度受賞。

『プラットフォームの教科書』『ビジネス思考実験』『事業創造のロジック』(日経BP社)、『IoT時代の競争分析フレームワーク』(中央経済社)、『プラットフォームビジネス最前線』(翔泳社)などの著書・編著がある。

# 事例紹介



株式会社オープンハウス  
CIO(最高情報責任者)  
田口 慶二氏

## 25B. 競争を勝ち抜くためのデジタルトランスフォーメーション ー オープンハウスの取り組み

昨今の働き方改革など、限られた時間の中で企業が効率良く成長するために、時間の使い方に改めて向き合う必要があります。デジタルを適切に活用出来る企業こそが、これからのビジネスを勝ち抜いて行く時代。そのために抑えておかなければならないポイントについてオープンハウスが取り組んで来た事例を踏まえながら、オープンハウスが考えるデジタルトランスフォーメーションの潮流についてご紹介いたします。

#### 【プロフィール】

慶應大学環境情報学部卒業後、大手通信会社や外資系情報セキュリティ会社にて、インターネット黎明期における国際標準化活動、EC基盤開発、ITコンサルティングに従事。その後は流通業界や住宅広告業界に身を置き、ビジネスとテクノロジーの橋渡しをすることでインターネットを活用した自社の戦略マーケティング、新規事業開発を加速させてきた。2014年に株式会社オープンハウスに入社。2017年には同社CIO(最高情報責任者)に就任し、IT戦略の策定・実行を担う。

# 担当アナリスト

コンファレンス・チェア

片山 治利

Harutoshi Katayama  
リサーチ ディレクター



- アプリケーション開発、アプリケーション・ストラテジ(企業にとってのアプリケーションの価値を高めるための戦略)、ガバナンス(管理・統治)、オーバーホール(再構築一標準化、近代化、効率化)の動向分析

足立 祐子

Yuko Adachi

バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト



- IT人材育成
- ソーシング戦略
- グローバル・ソーシング動向

パオロ・マリンベルノ

Paolo Malinverno

バイス プレジデント



- アプリケーション戦略/ガバナンス
- アプリケーション・アーキテクチャとインフラストラクチャのモダナイゼーション
- デジタル・ビジネスの構築と拡大
- デジタル・バンキング経験の提供
- デジタル政府への移行

鈴木 雅喜

Masaki Suzuki

バイス プレジデント



- データやストレージを中心としたITインフラ(クラウド、サービス含む)、ビッグ・データ、デジタル・ビジネスへの戦略支援、インフラ戦略の立案と運用、組織戦略への支援・助言
- 文書管理、コンテンツ管理のトレンド分析とユーザー戦略
- 事業継続管理、災害対策に向けた効率的なインフラ技術活用への支援・助言
- 日本国内および世界のストレージ市場動向・将来予測・戦略分析

本好 宏次

Koji Motoyoshi

バイス プレジデント



- ERPを中心としたビジネス・アプリケーション分野の日本国内における市場動向/競争分析ならびに将来予測
- 同分野における製品選定/導入のユーザー企業向け支援・助言

一志 達也

Tatsuya Ichishi

主席アナリスト



- データベース製品に関する製品動向調査および製品選定におけるアドバイス
- データ統合、データ品質管理、マスターデータ・マネジメント環境の構築・導入・利用に関するアドバイス

イエフィム・ナティス

Yefim V. Natis

バイス プレジデント 兼 ガートナーフェロー



- クラウド・コンピューティング
- アプリケーション・アーキテクチャとインフラストラクチャのモダナイゼーション
- アプリケーション・リーダー

デニス・ゴーハン

Dennis P. Gaughan

バイス プレジデント



- クラウド・コンピューティング
- アプリケーション戦略とガバナンス
- ERPからポストモダンERPへの変革
- モバイル・アプリケーション戦略

マーク・ドライバー

Mark Driver

バイス プレジデント



- アプリケーション開発のモダナイゼーション
- クラウド・コンピューティング
- アプリケーション戦略とガバナンス
- 人工知能
- アプリケーション・アーキテクチャとインフラストラクチャのモダナイゼーション

志賀 嘉津士

Katsushi Shiga

バイス プレジデント



- グループウェアや電子メール、コラボレーション・ツールに関するリサーチ
- デジタル・ワークプレースに関するリサーチ
- エンタプライズ・ソーシャル・ソフトウェアに関するリサーチ
- エンタプライズ・サーチに関するリサーチ

飯島 公彦

Kimihiko Iijima

リサーチ ディレクター



- 日本国内のアプリケーション・アーキテクチャおよびアプリケーション・プラットフォーム、アプリケーション統合ミドルウェア領域
- 上記領域に関する戦略立案やテクノロジー選択・適用に関するベスト・プラクティスなどの提供

各アナリストのプロフィールはWebサイトをご覧ください。

## One-on-Oneミーティング ご参加特典

お客様個別の課題に対して、ガートナーのアナリストがお答えする「1対1」型のミーティングです。『お客様が抱える問題』、『海外の先進事例』など、アナリストとの対話を通じてお客様の課題解決のヒントを得てください。海外アナリストとのミーティングにはご希望により通訳が同席いたします。


**お申込み方法** Webサイトからお申込みいただくか、貴社担当営業へお申し付けください。








## セッション概要


 日英同時通訳付


<b>イエフィム・ナティス</b> バイス プレジデント 兼 ガートナーフェロー	<b>11A. イベント駆動型の思考がデジタル・ビジネスへの道を切り開く</b> 本セッションでは、イベント駆動型デジタル・ビジネスの設計／作業の原則について解説する。モノのインターネット、リアルタイムのインテリジェントなオペレーション、マイクロサービスをベースとした俊敏性、コンテキスト・ウェア型の意思決定、弾力的な拡張性といったすべては、デジタル・ビジネスの主な特性であり、イベント・ストリームやイベント駆動型アーキテクチャへのアクセスによって向上／強化される。すべてのアプリケーション／アーキテクチャ／オペレーション・リーダーは、イベント駆動型ITの文化、テクノロジー、スキルを取り入れ、促進すべきである。そしてこれを極めるための道のりは、基本原則の理解から始まる。	
--	---	---


<b>15A. サーバレス・プラットフォームとPaaS: デジタル・ビジネスのプラットフォーム・アーキテクチャにおける主要トレンド</b> 本セッションでは、「プラットフォームとしてのクラウド」について、明らかになりつつある成熟度と、デジタル・ビジネスのテクノロジー基盤としての役割を解説する。デジタル・ビジネス変革の道のりを積極的に進んでいる企業も、着手したばかりの企業も、いまだ懐疑的な企業も、至る所に存在するビジネス／テクノロジー・イノベーションを無視することはできない。すべての企業は、次の問いを熟考する必要がある。IoTデバイスとデジタル・ツイン、APIとAPIマーケットプレイス、マイクロサービスとサーバレス機能、イベントとイベント・ストリーム、アナリティクスとAI、ブロックチェーンとスマート・コントラクト、IaaSとPaaSは、企業の計画、組織、牽引力をどうサポートし、どう破壊するであろうか。	
--	---


<b>23A. ハイブリッド統合プラットフォームが必要な理由とその構築方法</b> ハイブリッド統合プラットフォーム(HIP)は、広範な統合の鍵を握るテクノロジー基盤である。適切に設計されたHIPは、幅広い統合要件、さまざまなユーザー・タイプ、ハイブリッド・デリバリー・モデルをサポートする。だが、業界の導入実績はわずかであり、プロバイダーのサービスもまだ開発途上にあるため、HIPの構築は困難である。本セッションではHIP構築が必要な理由と構築方法を論じる。	
---	---


<b>マーク・ドライバー</b> バイス プレジデント	<b>11B. 高生産性開発ツールの選定: 自社に最適なツールの選び方</b> 過去3年間で、従来のWebから、モバイル、aPaaSに至るまで、RADツールへの需要が爆発的に高まっている。本セッションでは、それらの市場区分全体におけるRADテクノロジーのメリットとデメリットを説明し、社内のスキルとプロセスに最適なテクノロジーを選定する際のベスト・プラクティスを紹介する。	
--------------------------------	---	---


<b>15B. AI時代のアプリケーション開発</b> AIテクノロジーが急速に発展、成熟するにつれて、アプリケーション開発を管理するマネージャーは、そのイノベーションを習得し、次世代ITにチャレンジする必要性が増大する事を認識するであろう。本セッションでは、機械学習テクノロジーを活用したアプリケーションの開発におけるツール、フレームワーク、ベスト・プラクティスを紹介する。	
---	---

<b>23B. ポストアプリの世界における、アプリケーション開発の姿</b> 本セッションでは、デジタル・メッシュ・アーキテクチャやポストアプリのユーザー・エクスペリエンス用テクノロジーの世界において、変化し続けるアプリケーション開発のダイナミクスを取り上げる。継続的デリバリーとリーンITのダイナミクスの変化、そして現在および将来にわたってそれがアプリケーション開発業務に及ぼす影響について説明する。	
--	---

<b>一志 達也</b> 主席アナリスト	<b>11C. ビジネスに貢献するデータ活用のために、理解しておきたい10のトレンド</b> 本セッションでは、情報活用、情報管理、情報インフラなどのさまざまな観点から、CIOやITリーダーがいま理解しておくべき最新トレンドを取り上げ、その概要を紹介する。取り上げるトレンドは「アルゴリズム・ビジネス」「オープン・データ」「自然言語クエリ」「In-DBMS アナリティクス」「オブジェクト・ストレージ」「HTAP」「マルチモデル・データベース」「ブロックチェーン」「Hadoopの現在」「市民サイエンティスト」などである。	
-------------------------	--	---


<b>23D. [Ask the Analyst]* デジタル・ビジネス実現の鍵となる、データ活用のツボ</b> デジタル・ビジネスに貢献するデータ活用の取り組みを進めたい、と考える企業は増えているものの、具体的にどうすれば良いかと悩む企業も同様に多い。どのようなデータを使って、どういった分析をすれば良いのか、それは誰が行うのが良いのか、育成できるものなのか。インフラやツールの選定以前に、多くの悩みを生み出すデータ活用について、参加者からの疑問に基づいて考える。 <div><p>※Ask the Analyst は、参加者とアナリストによるQ&amp;Aセッションです。ご参加の際はアナリストへの質問事項をご用意ください。 【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方</p></div>	
---	---


<b>本好 宏次</b> バイス プレジデント	<b>11D. [Ask the Analyst]* ERPのサードパーティ・サポートを巡る誤解を解く</b> SAPやOracleのライセンス保守コストを50%以上削減する即効性のある手段として、Rimini Streetに代表されるサードパーティ・サポートへの関心が高まっている。本セッションでは、サードパーティ・サポートを巡る日本企業の「良くある誤解」を紹介しつつ、サードパーティ・サポートのメリットとリスク、サポート切り替えが可能な企業の条件などについて、アナリストが参加者の疑問に答える。 <div><p>※Ask the Analyst は、参加者とアナリストによるQ&amp;Aセッションです。ご参加の際はアナリストへの質問事項をご用意ください。 【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方</p></div>	
----------------------------	---	---


<b>25C. ポストモダンERPプロジェクト: 成功の秘訣</b> デジタル・ビジネスやクラウドの進展を受け、ERP市場がかつてない変革期を迎えるなか、ERPをこれから導入する企業も、導入済みのERPを刷新する企業も、プロジェクトを成功させるうえで、新たなチャレンジに直面している。本セッションでは、ベンダー選定、カスタマイズ管理、体制作りといった定番の相談事項から、クラウドやAIなどの新興技術に対応した新たな考慮点まで、ERPプロジェクトに責任を持つすべてのITリーダーが知っておくべきポイントを解説し、事例を踏まえた提言を行う。	
---	---


## セッション概要


 日英同時通訳付


<b>パオロ・マリンベルノ</b> バイス プレジデント	<b>13A. APIプラットフォームとAPIエコシステム構築についてCIOとITリーダーが知っておくべき10項目</b> APIは、エコシステムに関与して、モバイルや新しい対話チャンネルを通じてビジネス・パートナーやエンドユーザーとやりとりするために使用される。APIはビジネス・モーメントをもたらし、革新的な発想やアプリを生み出すことができる。パイモーダルなAPIプログラムの実行、APIの安全な公開、APIエコノミーの有効活用に取り組むことで、CIOとITリーダーには多くの課題が突き付けられる。本セッションでは、そのような課題と解決策について解説する。	
---------------------------------	---	---


<b>21A. APIからデジタル・プラットフォームへ: エコシステム構築に向けたAPIエコノミーの教訓</b> どのようなデジタル戦略も、APIを豊富に活用したプラットフォームによって実現される必要がある。そうしたプラットフォームの上に活発なエコシステムを構築すれば、社内では時間や予算の都合上、決して得られないソリューションを手にすることができる。だが、エコシステムは注意深い育成と管理が必要である。エコシステムはAPIエコノミーにおいてどのように構築されるか。その成功要因は何か。デジタル戦略に対応するエコシステムを構築するために、企業は他に何をすべきか。	
--	---


<b>25A. APIセキュリティ: オープン性と保護のバランスを保つ</b> 企業にとってAPIは、開発者、モバイル・ユーザー、B2Bパートナー、そして新しいデジタル・アシスタント・エコシステムと連携するための鍵である。だが、APIを使用するにはセキュリティ対策を整備する必要がある。脅威からの保護は不可欠であるが、最小限のオーバーヘッドでクライアントからAPIにアクセスできるようにする必要もある。バランスが重要である。本セッションでは、APIセキュリティに関する主な検討事項に加え、関与させるべき主要なステークホルダーについて概説する。	
--	---


<b>デニス・ゴーハン</b> バイス プレジデント	<b>13B. エンゲージメント、価値、成果にフォーカスせよ: ビジネスとITの境界を取り払え</b> 企業がデジタル・ビジネスへの歩みを進めていくと、IT部門が岐路に立たされる。「御用聞き」の姿勢を維持すれば、存在意義の低下につながる。そこでIT部門は、ビジネス部門となり、成果、価値の流れ、プロダクト・イノベーションに注力することで、アプリケーション・ビジネスから脱却する必要がある。本セッションでは、CIOとITリーダーが企業のDNAの一部になるための道のりを紹介する。	
-------------------------------	---	---


<b>21B. 既存のアプリケーション・ポートフォリオからデジタル・プラットフォームを構築する方法</b> 新しいビジネスモデルを発展させるには、デジタル・プラットフォームの構築が不可欠である。組み込まれるテクノロジーの多くは、企業にとって新しいものであるが、デジタル・プラットフォームの基盤は、今のポートフォリオにある中核的なアプリケーションの上に構築される。だが、こうしたアプリケーションのすべてがデジタル・ビジネスに対応しているわけではない。本セッションでは、変化に柔軟に対応できるアーキテクチャするために、アプリケーションがデジタル・ビジネスモデルのニーズに対応しているかどうかを評価するためのフレームワークを提供する。	
---	---

<b>志賀 嘉津士</b> バイス プレジデント	<b>13C. ワークスタイル変革にCIOとIT部門はいかに取り組むべきか</b> 従業員の働き方を変えることで、ビジネス機会の創出、生産性の向上、長時間労働の是正、ワークライフ・バランスの実現を目指す企業が増えてきている。政府の推進する働き方改革も追い風となり、「ワークスタイル改革」が叫ばれるようになってきた。これを実現する重要な手段としてITが注目されており、IT部門への期待も増大している。本セッションでは、今日の「ワークスタイル改革」の動向を整理し、CIOやITリーダーがどのように取り組むべきかを解説する。	
-----------------------------	--	---

<b>鈴木 雅喜</b> バイス プレジデント	<b>15C. 日本のブロックチェーン: 今なすべきことは何か</b> ブロックチェーンは日本においても大きな話題となり、金融だけでなく幅広い業種で活用可能なテクノロジーとして注目を集めている。本セッションでは、ブロックチェーン／分散台帳とその活用に関して、CIOとITリーダーが理解しておくべきことと施策を説明する。	
----------------------------	--	---

<b>飯島 公彦</b> リサーチ ディレクター	<b>15D. [Ask the Analyst]* デジタル・ビジネス時代のアプリケーション・アーキテクチャ: 選定と適用の留意点</b> 大多数の企業が、デジタル・ビジネスの実現に必要なITのパイモーダル化にむけ、新規アプリケーションの高速デリバリーと既存アプリケーションの変革に取り組んでいる。本セッションでは、こうした取り組みの中で、参加者の持つアーキテクチャの選定や適用に関する課題について、アナリストを中心に議論する。 <div><p>※Ask the Analyst は、参加者とアナリストによるQ&amp;Aセッションです。ご参加の際はアナリストへの質問事項をご用意ください。 【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方</p></div>	
-----------------------------	---	---

<b>23C. デジタル・ビジネスを支えるアプリケーションの必須要件: マイクロサービス適用の留意点</b> デジタル・ビジネスに取り組む企業が国内外で加速度的に増えている。このようなビジネスを安定的に運営していくためには、アプリケーションのアーキテクチャにも新たな考慮が必要である。デジタルビジネスに取り組む先進的な企業からは、マイクロサービスが有望視されており、成果も始めている。本セッションでは、マイクロサービス適用の留意点について解説する。	
---	---

<b>足立 祐子</b> バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト	<b>21C. 日本のIT人材展望2018</b> 本セッションでは、日本のIT人材を取り巻く状況と今後の課題を展望する。パイモーダルなIT組織の構築と人材育成を軸に据え、ITリーダーにとつての選択肢と2018年に踏み出すべき一歩について、事例を交えながら解説する。	
--	--	---

記載内容は2018年2月8日現在のものです。最新の情報はWebサイトをご覧ください。

3月15日(木)

9:15-10:15	<b>GK1. オープニング基調講演</b> デジタル・プラットフォームを構築してビジネス・エコシステムに投資せよ <b>デニス・ゴーハン</b>			
10:25-11:10	<b>GU1. ゲスト基調講演</b> AI、ロボット、IoTを社会に活かす。～人がより幸せになるような未来を創る会社の使命とは?～ <b>株式会社hapi-robot 代表取締役社長/ハウステンボス株式会社 取締役 CTO 富田 直美 氏</b>			
11:25-12:10	<b>LS1A.</b> API時代の潮流 一つくらないSI、つなぐSI — 株式会社ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング <b>今野 睦</b>	<b>LS1B.</b> パイモータルIT:マイクロサービスへのAPIアプローチ CA Technologies (日本CA株式会社) <b>四宮 康典</b>		
12:30-13:15	<b>11A.</b> イベント駆動型の思考がデジタル・ビジネスへの道を切り開く <b>イエフイム・ナティス</b>	<b>11B.</b> 高生産性開発ツールの選定: 自社に最適なツールの選び方 <b>マーク・ドライバー</b>	<b>11C.</b> ビジネスに貢献するデータ活用のために、理解しておきたい10のトレンド <b>一志 達也</b>	<b>11D. [Ask the Analyst]</b> ERPのサードパーティ・サポートを巡る誤解を解く <b>本好 宏次</b>
13:30-14:15	<b>12A.</b> デジタル変革を支える次世代エンタープライズアプリケーション <b>日本アイ・ビー・エム株式会社 我妻 三佳</b>	<b>12B.</b> 近日公開 株式会社 NTTデータ		
14:30-15:15	<b>13A.</b> APIプラットフォームとAPIエコシステム構築についてCIOとITリーダーが知っておくべき10項目 <b>パオロ・マリンベルノ</b>	<b>13B.</b> エンゲージメント、価値、成果にフォーカスせよ: ビジネスとITの境界を取り払え <b>デニス・ゴーハン</b>	<b>13C.</b> ワークスタイル変革にCIOとIT部門はいかに取り組むべきか <b>志賀 嘉津士</b>	
15:30-16:15	<b>14A.</b> デジタル変革を推進するアプリ開発シンプルプラットフォーム <b>有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所 當仲 寛哲</b>	<b>14B.</b> なぜ今サービタイゼーションなのか: デジタルシフトで付加価値を <b>IFS AB アントニー・ポーン</b>		
16:30-17:15	<b>15A.</b> サーバレス・プラットフォームとPaaS: デジタル・ビジネスのプラットフォーム・アーキテクチャにおける主要トレンド <b>イエフイム・ナティス</b>	<b>15B.</b> AI時代のアプリケーション開発 <b>マーク・ドライバー</b>	<b>15C.</b> 日本のブロックチェーン: 今なすべきことは何か <b>鈴木 雅喜</b>	<b>15D. [Ask the Analyst]</b> デジタル・ビジネス時代のアプリケーション・アーキテクチャ: 選定と適用の留意点 <b>飯島 公彦</b>
17:30-18:00	<b>16A.</b> 守るモード1も、攻めのモード2も両方やらないとダメ。二つの連携が可能にするデジタル変革の最前線 <b>SAPジャパン株式会社 宮田 伸一</b>	<b>16B.</b> 近日公開 *詳細はWebサイトをご覧ください		
18:00-19:00	<b>ネットワークング・レセプション</b> ※軽食とお飲み物をご用意してお待ちしております。アナリストとの意見交換や、ご参加者様同士の情報交換の場として、ぜひご活用ください。			

## ITプロバイダーによるセッション

- LS ランチョン・セッション
- SPS ソリューション・プロバイダー・セッション
- BR ボードルーム・セッション

ソリューション・プロバイダーのエグゼクティブによる少人数制のセッション。  
参加対象: ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方

## 協賛企業紹介 (五十音順)

プラチナ協賛

3月16日(金)

9:15-10:00	<b>21A.</b> APIからデジタル・プラットフォームへ: エコシステム構築に向けたAPIエコノミーの教訓 <b>パオロ・マリンベルノ</b>	<b>21B.</b> 既存のアプリケーション・ポートフォリオからデジタル・プラットフォームを構築する方法 <b>デニス・ゴーハン</b>	<b>21C.</b> 日本のIT人材展望2018 <b>足立 祐子</b>	
10:15-11:00	<b>22A.</b> 高速開発ツールで大規模な革新的アプリケーションサービスを実現 <b>ソフトバンク コマース&amp;サービス株式会社 関 直樹 / OutSystemsジャパン株式会社 アーノルド・コンセンコ [協賛: OutSystemsジャパン株式会社]</b>	<b>22B.</b> (暫定) XXXが語る! 確実に刷新する手法システムリフォーム <b>株式会社ソフトロード 劉 忱</b>	<b>22BR.10:10-11:05 (55分)</b> IoTデータ分析、ビッグデータ高速処理を実現する開発プラットフォーム <b>有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所 當仲 寛哲</b>	
11:15-12:00	<b>GU2. ゲスト基調講演</b> デジタル・ディストラクションと既存企業の対応戦略 <b>早稲田大学ビジネススクール 教授/早稲田大学IT戦略研究所 所長 根来 龍之 氏</b>			
12:15-13:00	<b>LS2A.</b> ダイナミック・データ・プラットフォームがこれからのデジタル変革を支える <b>株式会社アシスト 岸和田 隆</b>	<b>LS2B.</b> 革新的な次世代ERPを取り入れて、ビジネスに有効活用しませんか? <b>Revol Process Solutions Private Limited ジョン・ザビエル・アイ・エム</b>		
13:15-14:00	<b>23A.</b> ハイブリッド統合プラットフォームが必要な理由とその構築方法 <b>イエフイム・ナティス</b>	<b>23B.</b> ポストアプリの世界における、アプリケーション開発の姿 <b>マーク・ドライバー</b>	<b>23C.</b> デジタル・ビジネスを支えるアプリケーションの必須要件: マイクロサービス適用の留意点 <b>飯島 公彦</b>	<b>23D. [Ask the Analyst]</b> デジタル・ビジネス実現の鍵となる、データ活用のツボ <b>一志 達也</b>
14:15-15:00	<b>24A.</b> AI, Fintech, DX に素早く対応 <b>オープンハイブリッドクラウド戦略のススメ レッドハット株式会社 岡下 浩明</b>	<b>24B.</b> ユーザー事例講演 (予定) <b>株式会社 NTTデータ</b>		
15:30-16:15	<b>25A.</b> APIセキュリティ: オープン性と保護のバランスを保つ <b>パオロ・マリンベルノ</b>	<b>25B. 【事例紹介】</b> 競争を勝ち抜くためのデジタルトランスフォーメーション — オープンハウスの取り組み <b>株式会社オープンハウス 田口 慶二 氏</b>	<b>25C.</b> ポストモダンERPプロジェクト: 成功の秘訣 <b>本好 宏次</b>	
16:30-17:15	<b>GK2. クロージング基調講演</b> アプリケーション・リーダーはデジタル・トランスフォーメーション推進の舵を握れ <b>片山 治利</b>			

## シルバー協賛

## 出展協賛